

Sports Net

ちば 2021年1月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2021年1月1日

「スポーツは平和とともに」
新日本スポーツ連盟千葉県連盟
〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17
Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454
URL <http://njsf-chiba.perma.jp>
E-mail njsf1970chiba@gmail.com
発行人 園川 峰紀
通巻 225号

年頭所感

新しい年を迎えて

連盟員の皆さんの知見を結集し
「新しい生活様式」を



新日本スポーツ連盟
千葉県連盟
理事長 園川 峰紀

2021年新年あけましておめでとうございます
2020年はコロナに明けコロナに振り回された1年でした。

本来昨年夏に開催され、今はホッと一息つけるはずだった東京2020オリンピック・パラリンピックの1年延期。今年の夏は日本全国が再びあの喧騒に振り回されることとなります。

この原稿を書いている12月上旬では組織委員会に意向は何か何でも開催するようですが、年明けには大きな変更があるかもしれません。

コロナ禍の深刻化に伴い、今までの生活様式はすっかり変わりました。会議も、打合せも、ほぼリモートによるテレビ会議へと様変わり。お互いに顔を突き合わせての会議はなかなかできない状況が今後も続くこととなるでしょう。

併せて、私どもが長年続けてきたスポーツ活動もコロナ対策として「密」を避ける、大声を出さない、マスク着用の義務付け、手指消毒の徹底、ソーシャルディスタンスの確保等が追求されています。

特に卓球、バレーボール、空手等体育館などで行う屋内競技は、サッカー、野球、テニスなどの屋外スポーツと比較すると感染のリスクが比較的高いことから、かなり厳しい対策を講じないことには開催が難しい状況は今後共続くこととなるでしょう。

私ども新日本スポーツ連盟千葉県連盟も、昨年



八千代市
吉野栄子さん
作

の定期総会は書面決議に変更、総会後の各協議会の打ち合わせや連盟・常任理事会等もリモート会議を主体とした方式に変更、テニス・ミックスバレーボール・野球等千葉県が会場となる予定であった「第32回全国スポーツ祭典」の中止、反核平和マラソンの中止、青葉の森リレーマラソンの中止等々、前半は押しなべて総ての活動がストップ。

このような状況は全国各地で散見され、特に西日本のある種目組織では登録会員が前年の10分の1にまで激減し組織維持に危機感を抱く状況となっていることが報告されています。

これに対し、千葉県連盟では昨年夏以降、卓球・野球・ミックスバレー・バレーボール・テニス等の大会が感染症対策を講じて大会が開催されています。

参加者からは「こんな時期に大会を開催して頂き感謝します」との声が数多く届けられています。

今また第3波の波が都市部を中心に拡大が顕著になってきていますが、どうすれば今までのような活動が維持できるか、連盟員の皆さんの知見を集中してこの難局を乗り切りたいと思います。

全国連盟でも現状を打破するために、WEBセミナー、機関紙スポーツのひろばの普及等を通じて連盟運動をどのように進めるべきかを模索しています。

今年は是非皆さんの力を集中して新しい年を素晴らしい年となるよう力を併せて邁進したいと思いを。
(2020年12月2日現在)

野球協議会 2020年シーズンを振り返って

第44回全国選抜軟式野球大会

第44回全国選抜軟式大会千葉県大会は新型コロナウイルスの影響で第54回全国軟式野球大会千葉県大会の日程が大幅に遅れた関係もあり、参加チームは10チームと過去最も少ない大会となりました。

開幕も11月8日と例年より1か月半余も遅くなりました。

今大会も1回戦は3ブロックのリーグ戦として各チーム2試合保障しベスト4チームを選出しました。そして12月13日尼ヶ台総合運動公園球場で予定通り準決勝戦・決勝戦を行うことが出来ました。

1回戦のリーグ戦では昨年優勝のRossowaveが初戦を落とす波乱もありましたが力のこもったリーグ戦が展開され、ベスト4にSmokersと、千城台ヤンキース、JUMP、栄町クラブZが進出しました。

準決勝第1試合はSmokersと千城台ヤンキースが対戦しました。



ヤンキース
打った打球は!?

Smokers
抑えるか力投



初出場のSmokersはこれまでの安定した戦いぶりが影を潜めエラーも重なり今シーズン初の完封負けでベスト4で敗退となりました。

第2試合は栄町クラブZがJUMPの攻撃を2安打1点に抑え決勝に進みました。

決勝は栄町クラブZが2回1死3塁からラン&ヒットを取行するも三振ゲッターで先制のチャンスを逃す。



JUMP投手の力投

延長の8回無死から連続ヒットと悪投球で3・2塁の絶好の先制機を迎え再度ラン&ヒットを取行するも三振ゲッターで2死三塁となる。

その後連続死球で2死満塁としショートゴロエラーで先制する。

千城台ヤンキースのメンバー



対する千城台ヤンキースはヒット2本がいずれも2アウトからで土谷投手の前に打線が沈黙し2回目の優勝は成りませんでした。

抑えろ打線 栄町



つなぐ打線 ヤンキース



接戦を制した栄町クラブZが13回目の栄冠に輝きました。

優勝した 栄町クラブZ



第54回全国軟式野球大会千葉県大会リーグ戦

第54回全国軟式野球大会千葉県大会は3月8日開幕としたが雨で8試合中止し、チームの強い要望で1試合のみ行い、12月13日の決勝トーナメント戦で終了しました。

今シーズンは新型コロナウイルスの影響で企業チームが会社からの自粛要請で棄権したり、4月以降6月中旬まで球場が使用できなくなり中断を余儀なくされました。

6月中旬以降順次球場は使用できるようになりリーグ戦は再開しましたが雨の影響もあり、9月までに県代表を選出することが困難な状況となった。

そのために変則ではありますがリーグ戦併用のトーナメント戦を実施し各リーグの代表チームを選出することとしました。

しかし、千葉県で開催予定の第54回全国軟式野球大会は新型コロナウイルスの第2波の感染拡大の収束が見通せないことから8月下旬に中止となりました。

全国大会は中止でも関東大会は開催してほしいとのチームの要望もあり、9月21日に千葉県代表を選出する大会を四街道総合運動公園球場で開催しました。

一部はK's・福井電機、2部は千葉Meteo、3部はSmokersが代表を争った。一部2位の福井電機を下した3部のSmokersと2部千葉Meteoを下したK'sが対戦した決勝は特別ゲームとなり1部のK'sがかろうじて勝利しました。



初優勝したポンキーズ

リーグ戦は例年9月で終了していたがコロナウイルスの影響で各チーム10試合が消化できず、終了

するまで継続することを運営委員会で確認し、グラウンド確保に尽力し終了が12月6日になりました。

二か月余以上も延長したことから後半棄権するチームが多数出てしまいました。

一部は千葉北BULLSが優勝、ポンキーズが2位。

二部は千葉Meteoが選手を補強して優勝。

三部は今季、初参加のSmokersが圧倒的強さで10連勝し優勝。

12月6日の決勝トーナメント戦第1試合は一部優勝の千葉北BULLSと三部優勝のSmokersが対戦しました。

投手戦になったが6回裏Smokersは二つのエラーから1死3・2塁のチャンスに4番がセンターへ犠牲フライを放ち先制しました。

7回表千葉北は1死3・1塁のチャンスに強行しダブルプレーを喫し万事休す。



2試合目はポンキーズが2回に四球二つからレフト前ヒットで先制しエラーから追加点をあげ、続く3回には先頭がレフト右ヒット・盗塁からけん制悪送球で追加点を挙げます。Meteoは2・6・7回と先頭打者出塁するも後続なく涙を吞みます。

決勝戦はポンキーズが1回先制するも3回Smokersが長短打3本を絡め逆転、4回にも追加点を挙げます。ポンキーズは4回1点を返し6回に四球・ヒットをエラーに乗じて2点をあげ逆転に成功。

7回Smokersはヒット・盗塁で1死2塁からヒットで同点とします。7回で決着がつかず特別ゲーム(1死満塁)へ。8回は決着がつかず9回Smokersは得点できずその裏ポンキーズが得点し初優勝を遂げました。

常任理事会報告



2020年12月17日(木)第8回目の常任理事会を開催しました。

今回は園川理事長が長年“育んだ”胆石を取り除くために入院。Zoom参加者を含め7名での会議となりました。なお園川理事長は今年いっぱい静養。年明けから元気に職務に専念するとの事です。

この間の活動の主な内容は以下と通りです。

ランニング 来年5月のリレーマラソン開催に向け昨年参加費を納入したクラブに参加希望の有無を書面にて郵送。

12月13日には検見川クロスカントリー(東京RC共催) 昨年の2倍の参加者336名で成功。

卓球 12月26日に花島体育館にてダブルス大会を開催。収容人数制限により午前と午後に分けて実施。約200名が出席。参加者から喜ばれた。

テニス チーム対抗戦には27チームの参加。会場の高浜コートは選手で溢れました。

鈴木杯大会は男子76名、女子54名参加で開催、12月27日(日)まで試合を開催する予定。

野球 12月6日(日)全国軟式野球大会県予選会を

酒々井町で、13日には全国選抜軟式野球大会県予選会を茂原市で決勝戦を開催。

それぞれポンキーズ、栄町クラブZが優勝しました。

サッカー 11月22日(日)県総合スポーツセンター、12月20日(日)稲毛海浜競技場でリーグ戦を開催。天然芝での試合を楽しみました。

主に論議した内容

1. 対県・対千葉市との懇談会は今年に限り書面での要請と回答を貰う事で合意し要望書を提出しました。現在回答待ちの状況です。
千葉県307筆 千葉市346筆
2. 個人情報保護の取組については、2021年3末日までにガイドラインを作成し、HP等で告知する。また個人情報の取り扱いとセキュリティーについても告知する事にします。
3. 各協議会の状況については、対外的な観点からも協議会の規約の整備が必要に迫られているのではないかと、事務局で素案を提起したい。
4. その他として 全国連盟から組織状況の調査やコロナ禍の中での活動調査が求められています。

スポーツアラカルト

白米から玄米へ 免疫力を高めようと只今奮闘中!

今回は私事で失礼します。

毎年5月下旬に受診している人間ドッグで左腎臓に腫瘍が見つかりました。

エコーで異常が見つかり、1週間後のCT検査の結果、『何と!素人の私でもはっきりと分かるほど形の崩れた癌が画面に!』お医者さん曰く「7cm 5mmの癌です。ステージ2. 全摘出でしょう。」

血液検査のクレアチニンの数値は正常なのに。どうして?「昨年は何でもないのにそんな!」お医者さん曰く「わかりませんね。取って見ないと」「トホホ」と言う事で8月中旬に入院・手術が決まりました。

姪の旦那さんが腎臓を取っても元気に会社で働いている事を聞いていたので慌てず・騒がず落ち着いて2か月を待ちました。

コロナ禍で手術が延びるのではないかと気になりましたが、予定より早く7月下旬に入院・手術となりました。(大学の卒業生と言う事で便宜を図ってくれたのかな~)

驚いた事に手術翌日には《歩け、歩け》そして

手術後の初めての食事は《普通食》

1週間後には《はい。退院!》女房に「何か病院で貰わなかったの?」と聞かれ「便秘薬の残りかな。」と言う事で翌々日から事務所に通っています。

そうは言っても、1ヶの腎臓であと数年はこの世で過ごさなければなりません。早速、免疫力を高めるための本(野口節子監修 がん再発予防の食事&生活術)を購入しました。

昔から『快眠・快食・快便』が健康の秘訣と言われています。腸内環境を整えて便秘を防ぎましょう。と言う事で白米を止めて玄米に。玄米には植物繊維が白米の3~4倍含まれているので便通を促し、腸が活性化し免疫力が高まるのだそうです。

牛乳は健康を害する飲み物となっていると指摘する医師もいることから牛乳を止め、野菜ジュースオンリーに。果物は食後と思っていたのですが、そうではなくて最初に食べると免疫力が付くんだそうです。その他もろもろ。

勿論運動も大切。スポーツ連盟に関っているのに最近運動はさっぱり。卓球教室もサボって何年にもなります。そこで毎日と言って良いほど4~5キロをダンベル持ったウォーキング・早歩き。お陰で何やら最近元気ですよ。急いで冥土の土産を考えなくても良さそうです。

(事務局次長 金子泰夫)

クラブ紹介

HELL CATS

サッカー



①クラブ(チーム)名 HELL CATS

②代表者 岡田 聡

③チームの連絡先 東京都豊島区東池袋
(連絡希望の方は県連盟事務所まで)



④チームの概要

(名前の由来・チームの特徴・練習日程・人数等)

HELLCATSというチーム名は好きなロックバンドの名前から付けました。

1995年 浦安市立入船中学校サッカー部を卒業したメンバーを中心に立ち上げたクラブです。

いまは当時のメンバーはほとんどいなくバラバラです。

浦安市を中心に活動しています。

新日本スポーツ連盟サッカー協議会には2012年から参加しています。現在リーグ戦に加盟しているクラブの中では古い方に入ります。

⑤クラブのアピール

選手の構成は20歳～40歳代です。

東京在住の外国人リーグに所属している選手との繋がりがあがる為、イタリアやイギリス出身の選手も活躍する、国際色溢れるサッカーチームです。

私たちは唯のサッカークラブではなく、『紳士の倶楽部活動』を目指しています。

具体的にはグラウンドに来て、私たちのプレーを見ていただければお分かりになると思います。

今年度のリーグ戦の様子ですが、12月20日現在、1勝1分です。



⑥その他

(スポーツに関する情報・スポーツ連盟に期待すること等)

創立30年までクラブの維持存続を目指していますので、応援のほど何卒 宜しくお願い致します。



クラブ紹介掲載を希望されるクラブは、600字程度の原稿と写真3～4枚を新日本スポーツ連盟千葉県連盟事務所までメールに添付してお送りください。

SPORTS CALENDAR

1月

- 1月11日(祝) 新春ミックスバレーボール大会
1月17日(日) サッカー協議会リーグ戦
チーム対抗テニス大会
(混合ダブルス3ペア)
1月23日(土) チーム対抗テニス大会
(男女別ダブルス3ペア)
1月24日(日) サッカー協議会リーグ戦
春季テニス大会・女子シングルス
1月31日(日) 2021年新春テニス大会 男・女・混合



2月



- 2月7日(日) サッカー協議会リーグ戦
チーム対抗テニス大会 (混合D2ペア)
2月11日(祝) 春季テニス大会・男子シングルス
2月21日(日) サッカー協議会リーグ戦
2月23日(日) シニアテニス大会 女子・壮年男子
2月28日(日) 春季テニス大会・男子ダブルス

○2月7日(日) にポートアリーナで開催予定の

団体戦は中止

○千葉県施設調整会議 2月 6日(土)

○千葉県施設調整会議 2月13日(土) 体育館・庭球場
同 2月20日(土) 野球場

ホントにオリンピックは開けるのか？ ～～～見えない先行き～～～

新日本スポーツ連盟全国連盟による和食会長の「東京オリンピック・パラリンピックの開催の是非と持続可能な五輪の在り方を考える」WEBセミナーに参加しました(2020年11月29日・日曜)。

約1時間の講義とその後の1時間に及ぶ参加者と会長との質疑応答を聞き、コロナ禍の中でもスポーツをやりたいという要求は人間として根源的なもの(スポーツ権)であり、「生命と健康」の権利、オリンピック憲章の目指しているものは何か?を考える良い機会となりました。

ただ、講義の中で述べられた予定通りオリンピックを開催すべきかどうかのアンケート結果では、予定通り開催すべき少数派(三分の一)を示すも、菅首相はバッハIOC会長の来日の際「人類が新型コロナウイルスに打ち勝った証にしたい」と、どうあっても五輪を開催する方針に変わりはないとの発言に違和感を覚えました。

そもそも今回のオリンピック誘致に当っては、2011年3月11日に発生した東日本大震災の復興が最大の目標であったのではないのか?

それが、いつの間にか景気対策やら感染症対策に代わっています。

今でも被災地の相当数の住民は故郷に戻れず避難先で暮らしており、福島第1原発廃炉作業に至っては遅々として進まず完全復興は未だ見えずといった状況には何ら変化はありません。

講義の後に交わされた参加者の発言にも「オリンピックの意義は分かるが現状を考えると開催には賛同できない」旨の発言が相次ぎました。

そんな中、大会組織委員会は1年延期に伴う追加予算として2000億円を計上、その他にコロナ対策として1000億円を見込んでいる、更にこれらの額は流動的との報道(2020年11月末発表)を聞き、正直言って大会費用は一体いくらかかるのか心配になりました。

延期決定前に組織委員会が発表した大会経費は1兆3500億円(2019年12月公表の第5版による)この数字だけでも庶民にとっては驚くべき額ですが、そこまで費やして五輪を強行するよりも、コロナの下でも国民が安心して暮らせる社会と医療体制を充実させることが今最重要課題とすべきではないかと改めて、感じました。



理事長の独り言